

### 固定資産台帳整備



奥秋康子議員

公有資産は価格に関するデータがなく、土地・建物の面積の公表にとどまっている。国はすべての地方自治体に新公会計制度による資産台帳の整備を要請している。本町の公有財産の維持管理が戦略的に管理され、持続可能な財政運営が実現されることを願い、次の点について伺う。

- ①台帳整備の進捗状況と作成の見通しは。
- ②台帳整備による活用と課題は。
- ③新公会計制度導入による利点と課題は。

#### 阿部町長

①平成27年度からデータ整理に着手しており、現在は地方公会計の財務諸

表作成に向け、精査作業を進めている。

②減価償却の基礎データとなり、老朽化率を数値化することができるところから、公共施設の老朽化対策の資料として活用できる。課題は毎年度の更新処理に時間を要し、事務負担が大きい点である。③統一的な基準となったことで類似市町村との比較が可能となる。また、潜在的な将来負担を捉えることができる。課題は毎年度の財務諸表作成に時間を要すること、財務諸表の公表に際していかに住民にわかりやすく説明ができるかという点である。

### 必修化されるプログラミング教育

#### 奥秋康子 議員

今後、人工知能が様々な判断をし、身近なものがインターネット経由で最適化される時代の到来

が社会の在り方を大きく変えていくと考えられる。小学校からのプログラミング教育（※）が必要として平成32年度からの実施が見込まれているが、本町での準備状況を伺う。

- ①子どもたちをどのようにな人材に育成したいのか。
- ②効果的なプログラミング教育のための必要な条件は。
- ③どの教科で学習するのか。
- ④指導者や教材、インターネット環境の整備は。
- ⑤必修化前に試験的な実施は考えているか。

#### 伊藤教育長

①論理的・創造的思考力や問題解決能力、情報活用能力などを持った人材に育成することが重要であると考えている。

- ②ICT環境の整備や教材、指導事例の提示、教員研修などが必要な条件である。
- ③各学校においては次期学習指導要領に基づき、各教科のプログラミング

教育を行う単元を適切に位置付けて実施していくことになる。

- ④機材更新の際に学習内容に合わせた環境整備を考えている。

教科の特質に応じたICT教材等の開発や、教員の指導を支える支援人材バンクの構築など、官民連携により学校を支援する体制が整備されていくことを期待している。

#### ※プログラミング教育

コンピュータに動きを指示するために使われるプログラムを学ぶ教育。技術を学ぶだけでなく、自分が求めることを実現するために必要な動作や記号を考え、組み合わせながら改善していく、論理的な「プログラミング的思考」を育むのが狙いとされている。



カメラに向かって「はいポーズ」(第一保育所の子どもたち)

### アライグマ駆除の現状と課題



大谷昭宣議員

アライグマが急増しており、農業被害に大きな影響を与えている。特に本町では平成28年度に57匹と、十勝管内の捕獲数119匹のほぼ半数を占めている。

繁殖率が高いが捕獲効率も高いとされており、早い段階で駆除を進めることがより効果的である。市町村の広域連携による対策も有効と考える。今後の駆除の考え方や進め方について伺う。

#### 阿部町長

平成27年度までは毎年10匹前後を捕獲していたが、昨年度は57匹、本年度においては8月末現在で102匹捕獲しており、近年は増加傾向にある。

今後の駆除の考え方や進め方については、アライグマは特定外来生物でキツネ等とは異なり、わな免許を所持していなくても申請により「箱わな」を設置することができるところから、農業者自らで積極的に設置していただきたい。

箱わなは町で100基を保有しているほか、各地域保全会で補助事業を活用して平成28年度には美蔓地区で30基、本年度も人舞地区で37基を購入していただいており、各農家で設置が進められ捕獲成果をあげている。

今後も猟友会や地域と連携しながら捕獲効率の向上と農業被害の防止に努めていきたい。



捕獲されたアライグマ

### 獣害対策をとりまく実情と獣害対策のビジョン



高橋政悦議員

本町の鳥獣被害防止計画及び鳥獣被害防止総合対策事業の実施状況について伺う。

鳥獣被害防止対策の担い手は住民自身であり、農業者、個体管理者（猟友会）、農協や森林組合等がそれぞれの役割を果たすことになるが、住民のニーズをまとめるリーダーの不在、猟友会メンバーの高齢化、効果的な財政支援などの課題が山積している。

対策施策の仕組みづくりの中で獣害の知識がある担当者と共に実施者としての専門職員の必要性、担い手育成などの課題に対するビジョンについて考えを伺う。

#### 阿部町長

鳥獣被害防止計画を策定し、猟友会の協力をいただきながら有害鳥獣による被害を未然に防ぐための捕獲や電気柵の設置を進めており、農業被害は減少傾向にある。鳥獣被害防止総合対策事業の実施状況については、ハンターの方々に意欲を持って取り組んでいただけるよう捕獲及び活動費として1頭当たり最大でエソシカは1万5千円、熊は3万円、キツネ及びアライグマは7千円の助成を行っている。

担い手の確保策として、平成28年度から狩猟免許の取得費用の一部として町から最大5万円、農協からも同額の助成を行っており、合わせて最大10万円の助成を行っている。

専門職は、地域の周辺環境に熟知している猟友会であると考えており、今後も駆除員の育成と担い手確保に取り組みしていきたい。

### 閉会中の委員会活動

#### 総務産業常任委員会

- (1) 産業人材の確保策について
- (2) 災害復旧の状況について
- (3) その他所管に関する事項について

#### 厚生文教常任委員会

- (1) 保育施設の整備について
- (2) その他所管に関する事項について

#### 議会運営委員会

- (1) 議会の運営とその諸規定について
- (2) 議長の諮問に関する事項について

### 人事

#### 固定資産評価審査委員会委員の選任に同意



坪坂修二さん

任期満了に伴い、坪坂修二さん（西清水）を選任することについて同意を求める町長提案があり、第8回定例会において議会は同意しました。

#### 工事請負契約の締結、議決事項の変更を可決

平成29年第4回定例会（3月）で議会の議決を経た工事請負契約の締結について、議決事項の一部（契約金額）を変更したいとの町長提案があり、第8回定例会において議会はこれを可決しました。変更の理由は、流木処理の量が当初予定していた量よりも少なかったことによるものです。

【工事名】 円山幹線道路（牧場橋）災害復旧工事  
【契約金額】 変更前 53,136,000円 → 変更後 51,321,600円

#### 議員の賛否公表（賛否が分かれた案件のみ掲載）

議件番号	議 件	大谷	桜井	北村	高橋	佐藤	木村	原	口田	中島	奥秋	安田	西山
請願第13号	適正な地方財政計画の策定を求める意見書に関する請願について	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○
請願第14号	教職員の長時間労働是正を求める意見書に関する請願について	○	○	○	×	○	○	○	×	○	○	○	○
意見案第5号	林業・木材産業の成長産業化に向けた施策の充実・強化を求める意見書について	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○
意見案第6号	適正な地方財政計画の策定を求める意見書について	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○
意見案第7号	教職員の長時間労働是正を求める意見書について	○	○	○	×	○	○	○	×	○	○	○	○
意見案第8号	道教委「新たな高校教育に関する指針」を抜本的に見直しすべての子どもにゆたかな学びを保障する高校教育を求める意見書について	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○

※加来良明議員は議長のため採決に加わっていません。○：賛成 ×：反対